

(表)

申込形態 一般 法建 用廃 住替 中堅 特目								
町 営 住 宅 入 居 申 込 書								
申 込 者	現住所					ふりがな 氏 名		
	本籍地							
	電話							
町 営 住 宅 に 入 居 す る 者 等	氏 名	続柄	生年月日	職 業	勤務先の名称・所在地		勤 続 年 数	
	入居者	本人	・	・			・	
	同居する		・	・			・	
	親族		・	・			・	
			・	・			・	
			・	・			・	
			・	・			・	
	別居扶養親		・	・			・	
			・	・			・	
			・	・			・	
希望の団地等	団地名	団地		特定目的 住宅への 入居希望	住宅の 目的等 理 由			
	間取り							
適 用								

所得計算表

1 所得	=	所得合計	3 公営住宅法に定める収入月額
	=		所得金額 :
	=		- 控除金額 :
所 得 合 計			収入年額 :
2 控除額			
同居・扶養控除額	円 × 人 =		
老人扶養控除額	円 × 人 =		
特定扶養親族控除額	円 × 人 =		
障害者控除額	円 × 人 =		
特別障害者控除額	円 × 人 =		
老齢者控除額	円 × 人 =		
寡婦(夫)控除額	円 × 人 =		
	控除額合計		4 平成 年度入居収入基準 円
			5 入居収入基準 適合・不適合
			審査者職氏名 印

※太枠の部分に記入してください。

受付印

住宅の困窮状況	次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに○をつけてください。 1 現在住宅以外の建物又は場所に居住している。 2 保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 3 他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便がある。 4 住宅がないため、親族と同居することが出来ない。 5 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切な居住環境にある。 6 自己の責めによらない理由で、家主、貸し主などから立ち退きを要求され、適当な立ち退き先がない。 7 住宅がないため、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。 8 収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。 9 その他（具体的にお書きください。）								
	[ ]								

現在の住宅の状況	現在居住している住宅の種類								
	1 借家	2 同居	3 貸間	4 民間アパート	5 賃貸マンション	6 寮	7 持ち家	8 道営住宅（団地）	9 道営以外の公営住宅（営）
	10 公団・公社住宅	11 社宅	12 仮住居	13 その他（ ）					
	現在居住している住宅の間取り								
現在居住している住宅の家賃等									
現在居住している世帯構成									

このとおり入居の申込みをします。 この申込みについては、次のことを誓約します。 1 この申込書に記載した事項は、全て事実に相違ありません。 2 この申込書に偽りの事項があった場合は、町営住宅入居決定の取り消しを受けても異議はありません。 3 この申込書に記載した住宅状況について事実調査をする場合はその調査を妨げ、又は拒絶しません。 4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員ではありません。									
令和 年 月 日									
上ノ国町長 様									
申込者氏名 印									

## 調査・確認事項

	結果	選考・落選
	団地	
	住戸	